

御船中学校で立志式

12月7日、御船中学校（井上幸三校長・366人）の2年生が将来の決意や目標などを発表し、大人になる自覚を深める立志式が行われました。式では、熊本バスケットボール株式会社の湯之上聡代表取締役から“チャレンジすることの大切さ”などの講話がありました。生徒の発表では、古澤蒼介くんが「学校生活や部活では、自分で考えて行動することはありませんでした。この立志式をきっかけに自分を変えたい！という気持ちに。今後は“自主性をもつ”ことを徹底していきたいです」と力強く発表しました。



2年生、それぞれの決意と目標を胸に！



お茶を贈呈した上益城茶業青年会

うがい用お茶で毎日元気に！

12月7日、郡内の茶業後継者でつくる上益城茶業青年会（野田大輔会長）から、町内の全小学校にうがい用のお茶パックが贈呈されました。今回で10回目となり、贈呈されたお茶は約6kg。お茶には、カテキンが含まれており、カテキンの殺菌効果が風邪予防に効果的です。それだけではなく、インフルエンザに対する抗ウイルス作用などにも効果があるといわれています。野田会長は「うがい茶をすることで健康な体を目指し、少しでもお茶に興味を持ってくれたら」と話しました。

43回目の上益城路へ



1区 (3.6 ^区)	2区 (5.2 ^区)	3区 (4.8 ^区)	4区 (3.3 ^区)	5区 (3.0 ^区)	6区 (4.8 ^区)	7区 (6.8 ^区)	8区 (6.3 ^区)
うえむら しょうのすけ 上村 祥之介	すどう たいき 須藤 大樹	まつなが まさふみ 松永 匡史	はらだ ひめな 原田 姫凧	ほんだ ふるか 本田 楓香	やました つばき 山下 翼	やました しゅん 山下 駿	もりかわ まさみつ 森川 将光
12分19秒 区間7位	20分36秒 区間7位	16分28秒 区間3位	14分30秒 区間6位	12分53秒 区間6位	16分53秒 区間2位	21分56秒 区間1位 新記録	23分01秒 区間5位

12月9日、第43回上益城郡町対抗駅伝大会が開催され、5町から7チームが出場しました。コースは、御船町役場前をスタートし、嘉島町のJAかみましき御船支所をゴールとする8区間37.8kmに御船町代表の8人が挑みました。御船町は序盤は抑えながらレース

を進めるも、終盤は6区の山下翼選手と7区の山下駿選手の兄弟バトンリレーで追い上げ、総合タイム4位でゴール。7区の山下駿選手（辺田見）は、区間新記録を出すなど圧巻の走りを見せました。

大会成績

1位	山都町A	2時間 9分 48秒
2位	益城町A	2時間 11分 45秒
3位	嘉島町	2時間 18分 13秒
4位	御船町	2時間 18分 36秒
5位	甲佐町	2時間 20分 32秒
6位	益城町B	2時間 21分 34秒
7位	山都町B	2時間 30分 07秒

玉虫で節頭まわし

12月3日、滝尾地区玉虫で節頭まわしが行われました。五穀豊穣に感謝し、大杯に注がれた一升三合三勺（約2.4^升）の酒を飲み干す伝統行事。江戸時代に神田で収穫した米を奉納後、豊作に感謝して酒を造ったことが始まりとされています。玉虫地区の上組・中組・下組に分かれた男衆が年輩者から順番に酒を飲みます。下組で最後に飲み干した松永勝博さんは「（お酒は）見た目以上に入っている。全然飲んでも減らない」と笑って話していました。最後の人が飲み干したあと頭にかざすと参加者からは、盛んな拍手が送られました。



各組の最後の一人が大杯を頭にかざすと拍手が送られた

小坂小で餅つき

12月3日、小坂小学校（高森康裕校長・222人）で餅つき収穫祭が行われました。今回で6回目。このイベントで使われた餅米は、徳永廣敏さん（陣）の田んぼで収穫され、約120kgが贈呈されました。餅つきには、保護者や地域住民など多くの人たちが参加。すべての児童たちがお互いに声を掛け合いながら、無我夢中で餅をつきました。井上歩くん（小5）は「友達や親、地域の人たちと協力してついた餅。早く食べたい」と笑顔で話していました。



みんなで餅をこねこね！



新しい家族が増えました

日本みなみメダカが滝尾小に

12月3日、滝尾小学校（河地浩太郎校長・59人）に、絶滅危惧種指定の日本みなみメダカ20匹と水槽一式が無償提供されました。提供した熊本国際化センターの谷川政敏代表は、メダカを育てることによって命の大切さ、環境美化を目指してほしいという願いがあります。児童たちは、メダカの育て方や増やし方など興味津々に尋ねていました。谷川さんは「春から夏にかけてが産卵シーズン。メダカを増やし、次の世代につなげ、みんなが笑顔になってくれれば」と笑顔で話しました。

にっぽん恐竜協議会発足

12月3日、恐竜の化石発見地の自治体同士が連携し、恐竜を活かしたまちづくりを進めるネットワーク「にっぽん恐竜協議会」の第1回総会が兵庫県丹波市で行われました。会長に谷口進一丹波市長を選出。この協議会は、本町を含む5市町で構成されており、今後は北海道むかわ町が実施している恐竜を学ぶ「竜学」を推進していきます。観光では、各市町でイベントの際に、情報発信による地域PRとして、地元の特産品などを販売します。



今後、災害時等ではすばやい対応を協議会で取り組んでいきます